

青春スクロール

母校群像記

<http://t.asahi.com/dnnn>

もがき遊び 目標達成：起業の原点に

慶応高校（塾高）OBには、既存の概念にとらわれずに「起業」に挑んだ人も多い。

楽天創業メンバーの一人で同社常務執行役員の小林正忠（44、1990年卒）の中学、高校時代は「空白の6年」だったという。小学校では野球部で活躍し



「もがき苦しんだ高校時代があったから今がある」と小林

慶応高校 3

だが、中学校でレギュラーから外れた。高校ではゴルフ部に入ったが、あまり身が入らなかつた。「何かしらの実を得よう」と、もがき苦しんだ。勝負したら負けるから、メイン舞台から逃げていた」と吐露する。

何もないことに魅力を感じ、1期生として慶大総合政策学部へ。そこで楽天を創業する仲間に出会い、ゼロからものを作る楽しさを知った。「無意識にリセットボタンを押しなかったのでしょう」と振り返る。食べるスーブの専門店「スー

プストックトーキョー」などを展開するスマイルズ代表の遠山正道（53、80年卒）は「塾高では遊んだ記憶しかない」と言う。先輩らと自由が丘の喫茶店や六本木のディスコに通った。突然、自宅に先輩が来て「スキ―板を持って30分で下りてこ



遠山は個展を開くなどアーティストとしても活動する

い」と言われ、苗場に行った。奇術部にも入り、学園祭で手品を披露した。「ネガティブな意識はゼロで、いいことしか見てなかった」。会社にも、そんなおおらかな雰囲気がある。



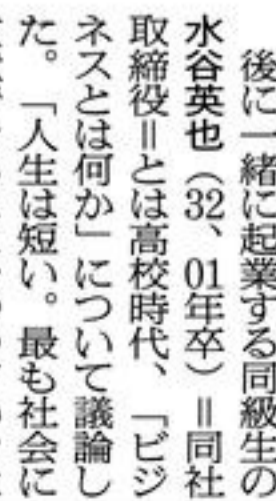
「名前が「勝」なので負けず嫌いなんです」と笑う富田

「すこい情熱が伝わってきた。馬術部で国体に2回出た実績も持つ。「本気でやった達成感。そのプロセスが好きなんです」。研究にも相通じるものがありそうだ。



関山は人工クモ糸で作ったドレスを世界で初めて開発した

「すごい情熱が伝わってきた。この人についていけば面白そうだ、と思った」。それまで授業中は寝ていたが、富田がいる環境情報学部に進むため、猛勉強を開始。進学後は富田研究室に入り、強靱だが弾性のある「クモ糸」に目をつけた。



後と一緒に起業する同級生の水谷英也（32、01年卒）は同社取締役Ⅱとは高校時代、「ビジネスとは何か」について議論した。「人生は短い。最も社会に貢献できることをやっていきたい」と話す。